

地域のかお シリーズ116

「今日が楽しく 明日が待たれる学校」をめざして

宮崎市立久峰中学校

校長 岩本 喜樹

本年度の定期異動により、宮崎市立宮崎中学校から久峰中学校に赴任してまいりました岩本喜樹と申します。よろしくお願いいたします。

大学を卒業し、初めて教師（臨時講師）として勤務した学校が県立佐土原高等学校であり、同時期に中学校時代の恩師が久峰中学校に勤務されていました。久峰中学校に赴任して、教師としてスタートした頃を懐かしく思い出したところです。

令和7年度第40回入学式が4月9日に行われ、148名の新入生が久峰中学校に入学し、2年生134名、3年生153名、全校生徒435名が、毎日の授業や生徒会活動、学校行事や部活動に一所懸命に取り組んでいます。今年度は、体育大会を5月開催に変更し、3年生を中心に一致団結して取り組み、「今しかない青春の舞台」で自分の力を最大限に発揮し、素晴らしい体育大会となりました。10月下旬には文化発表会・合唱コンクールを開催し、それぞれの学級や学年が練習の成果を存分に発揮し、生徒「一人ひとりが輝く」心に響く発表をしてくれました。部活動や生徒会は、3年生に代わって1・2年生が中心となり、先輩からのアドバイスや支援を受けながら、みんなで協力して一所懸命に頑張っています。

今の世の中は、グローバル化やデジタル化が進み、社会の変化が激しく予測困難な現代において、複雑な問題に取り組む力や自ら問題を発見し、解決策を模索する能力を身に付けることが、とても重要な時代になっています。将来に向けて、自発的に学び、課題解決に必要な思考力、

判断力、表現力、コミュニケーション能力などを身に付け、自己の生き方を考える資質や能力を育てていかなければなりません。そのために本校では、【久峰中学校「未来の学校」への挑戦】をテーマに、2学期より新校時程による学校改革に取り組んでいます。校時程を変更することにより、「時間のゆとり」と「心のゆとり」を創出することが大きなねらいです。ゆとりを生み出すことにより、自分とじっくり向き合う時間、自分が身に付けるべきものの学びの時間、周りにいる人たちを見つめ理解する時間等に活用し、社会の変化や予測困難な現代を生き抜いていける資質や能力を育てていくことができると考えています。私たちも、子どもたちを支えながら共に学び、家庭や地域と連携を図りながら、子どもたちの限らない可能性や能力を最大限に引き出し、中学校生活の中で多くのことを学び、身に付けられるように努めてまいります。今後とも、ご理解とご協力、ご支援をいただけると幸いに存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「今日が楽しく 明日が待たれる学校」は、新米教師時代の校長先生の経営スローガンです。「今日も学校が楽しかった」「明日はどんな楽しいことがあるのかな」と生徒も職員もみんなが、毎日楽しい学校生活を送れる久峰中学校にしていきたいと思っています。